

実践特集

通院治療中がん患者の半数が電話相談を経験！
“緊急度”が見える・症状から逆引きできる
がん薬物療法の副作用アセスメント
“そのまま使える”フローチャート

プランナー：水谷友紀 国立がん研究センター中央病院 呼吸器内科／日本老年腫瘍学会世話人代表

現在、がん薬物療法のおよそ8割は外来で実施されており、ナースが患者さんに関わる限られた時間のなかで、安全に投与管理や患者指導を行う難しさを感じる場面も多いのではないのでしょうか。近年では、治療の選択肢や安全性が広がったことで高齢者への実施も増えていますが、併存疾患やポリファーマシーの問題、独居や高齢夫婦世帯における服薬管理の難しさなど、ナースが支援すべきポイントもいっそう多様化しています。自宅療養中の患者さんから副作用に関する電話相談を受ける機会も増えていますが、特に休日や夜間には救急外来で対応するなど、がん薬物療法に詳しいスタッフが常に対応できるとは限らないのが現状です。そこで本特集では、ナースの視点で副作用発生時の対応をフローチャートにまとめ、特に電話相談時など短時間でも必要な情報を聞き逃さないような質問のしかたやアセスメントのポイントも合わせて解説します。患者さんから症候の訴えがあったときに、副作用鑑別のための情報を引き出し評価につなげられるナースになるために活用いただくほか、院内の電話相談フローチャートのブラッシュアップにも役立つ内容です。

Part1 総論：個別化&外来移行が進む がん薬物療法のいま 水谷友紀 国立がん研究センター中央病院 呼吸器内科
Part2 こんな場合は何に注意する？ 患者個別のポイントを押さえよう 井関千裕 社会福祉法人 大阪暁明館 大阪暁明館病院 看護部
Part3 フローチャートでわかる！ 電話相談にも役立つ！ 副作用アセスメントと患者サポート がん看護専門看護師／乳がん看護認定看護師

1) 発熱	水谷友紀	国立がん研究センター中央病院 呼吸器内科
2) 腹痛	山口 翔太郎	国立がん研究センター中央病院
3) 下痢	山口 翔太郎	国立がん研究センター中央病院
4) 悪心・嘔吐	高見澤 重賢	川崎市立井田病院
5) 経口摂取不良・食欲不振	舩井嘉大	国立がん研究センター中央病院
6) 便秘	村田直輝	国立がん研究センター中央病院
7) 倦怠感	村田直輝	国立がん研究センター中央病院
8) 呼吸困難	村田支優	国立がん研究センター中央病院
9) しびれ	村田支優	国立がん研究センター中央病院

広告締切

申込締切日：2026.2.19 版下出版社必着：4C 2026.2.19 1C 2026.3.5 綴込 2026.3.10

広告料

(税抜き)

掲載面	刷色	スペース	料金	サイズ(mm)
表4	カラー	1頁	250,000	205×172【断ち切り】
表2	カラー	1頁	230,000	257×182【断ち切り】
表3	カラー	1頁	210,000	257×182【断ち切り】
目次裏	カラー	1頁	180,000	257×182【断ち切り】
目次下	カラー	1/3頁	100,000	70×150
記事※	カラー	1頁	160,000	257×182【断ち切り】
記事	1色	1頁	80,000	220×150
記事	1色	1/2頁	50,000	105×150
綴込		1枚	100,000	仕上がり天地左右3mm タチシロありの印刷物

※掲載場所指定は20%増の料金となります(記事カラーのみ対応)。

取扱い広告代理店

● 広告原稿は完全データをお願いします。※広告掲載前に審査がございます。事前に広告内容をお知らせください。
● 入稿の際は、広告データ、出力見本(確認用PDF)をご準備ください。
● 広告掲載スペースには、断ち切りサイズ掲載可能スペースと、掲載不可のスペースがあります。掲載スペースとサイズをご確認ください。
● 企画内容が変更になる場合があります。
広告に関するお問い合わせは、上記の取扱い代理店、もしくは(株)メディカ出版 総広告代理店(株)メディカ・アド
TEL:03-5776-1853までお願いいたします。

◇この内容は、弊社ホームページ内の「掲載可能な専門誌一覧(<https://www.medica.co.jp/ad/>)」からダウンロードできます。

専門特集①

新薬時代の皮膚障害対策 最新版

写真で見て学ぶケーススタディ集

プランナー: 平川聡史 聖隷浜松病院 支持医療科 部長

抗がん薬の中には副作用として皮膚障害がみられるものも多く、各施設で標準的な対応が整備されつつあります。しかし、新薬や新たなレジメンの登場に伴い、症状はより多様化し、治療に難渋するケースも増えてきました。発症時期や形態が似ていても、原因となる薬剤によって治療方針は異なるものもあり、正確な鑑別がより重要になっています。さらに、従来のスキンケアやセルフケア指導だけでは対応しきれない患者さんへのケアに悩む声も少なくありません。本特集では、最新の皮膚障害対策をまとめるとともに、写真付きのケーススタディを取り上げることで、初見の症状を含めた多様な皮膚症状に直面したときに「どう対応すればよいか」がすぐに見えて、安心してケアに取り組める力を養うことを目指します。

Part1 がん薬物療法の皮膚障害UP-TO-DATE

吉川周佐 静岡県立静岡がんセンター 皮膚科 部長

Part2 皮膚障害への介入とケアが深まるQ&A集

中村千里 聖マリアンナ医科大学病院

【観察・評価編】

がん看護専門看護師／

Q1.重症度(特に軽度から中等度)の見極めが難しく、様子を見てよいのか

がん化学療法看護認定看護師

受診してもらうべきかの判断に迷ったらどうすればいい?

Q2.免疫チェックポイント阻害薬による皮膚症状のリスクが高いのはどんな患者さん?

発症を予防するために患者さんに指導できるとよいことはある?

【患者指導・声かけ編】

Q3.「毎日保湿してください」と伝えても、継続できなかつたり、正しい塗布方法が守れ

なかつたりする患者さんには、どう指導すればいい?

Q4.皮膚科処方薬が複数ある場合、スキンケアについてどう指導すればよい?

Q5.高齢者やアトピー性皮膚炎など皮膚が弱い患者さんのスキンケアの工夫は?

Q6.皮膚障害がある場合、メイクやひげそりは何に気を付けたい?

Q7.患者さんに皮膚障害がつらくて治療をやめたいといわれたが、

担当医は治療継続の方針の場合、どうしたらよい?

Part3 写真で見て学ぶ! ケーススタディ集

ケース①【ICIによるirAEの多形紅斑】

西澤 綾 都立駒込病院 皮膚腫瘍科 医長

ケース②【ICIによるirAEの水疱性類天疱瘡】

西澤 綾 都立駒込病院 皮膚腫瘍科 医長

広告締切

申込締切日: 2026.2.19 版下出版社必着: 4C 2026.2.19 1C 2026.3.5 綴込 2026.3.10

広告料

(税抜き)

掲載面	刷色	スペース	料金	サイズ(mm)
表4	カラー	1頁	250,000	205×172【断ち切り】
表2	カラー	1頁	230,000	257×182【断ち切り】
表3	カラー	1頁	210,000	257×182【断ち切り】
目次裏	カラー	1頁	180,000	257×182【断ち切り】
目次下	カラー	1/3頁	100,000	70×150
記事※	カラー	1頁	160,000	257×182【断ち切り】
記事	1色	1頁	80,000	220×150
記事	1色	1/2頁	50,000	105×150
綴込		1枚	100,000	仕上がり天地左右3mm タチシロありの印刷物

※掲載場所指定は20%増の料金となります(記事カラーのみ対応)。

取扱い広告代理店

● 広告原稿は完全データでお願いします。※ 広告掲載前に審査がございます。事前に広告内容をお知らせください。

● 入稿の際は、広告データ、出力見本(確認用PDF)をご準備ください。

● 広告掲載スペースには、断ち切りサイズ掲載可能スペースと、掲載不可のスペースがあります。掲載スペースとサイズをご確認ください。

● 企画内容が変更になる場合があります。

広告に関するお問い合わせは、上記の取扱い代理店、もしくは(株)メディカ出版 総広告代理店(株)メディカ・アド

TEL:03-5776-1853までお願いいたします。

◇この内容は、弊社ホームページ内の「掲載可能な専門誌一覧(<https://www.medica.co.jp/ad/>)」からダウンロードできます。

ケース③【先行治療で使ったICIによる、後方治療での皮膚障害の重症化】

平川聡史 聖隷浜松病院 支持医療科 部長

ケース④【二重特異性抗体薬(BiTE抗体:タルラタマブなど)による皮膚障害】

西澤 綾 都立駒込病院 皮膚腫瘍科 医長

ケース⑤【抗体薬物複合体(エンホルツマブベドチン;ADC)+ICIによる皮膚障害】

平川聡史 聖隷浜松病院 支持医療科 部長

ケース⑥【頭頸部がんの放射線性皮膚炎に使用したステロイド外用薬による感染症】

平川聡史 聖隷浜松病院 支持医療科 部長

専門特集②

「先が見える」サポートで患者さんのこころを支える
乳がん術前・術後の補助療法
ケアガイド

中村将人 社会医療法人財団 慈泉会 相澤病院 がん集学治療センター化学療法科 統括医長

手術前後に補助療法を行うケースは年々増えており、なかでも乳がんにおける術前・術後補助療法は患者数が多く、看護の役割も期待されています。同じ「補助療法」であっても、根治を目指して治療強度を高く保つ術前補助療法と、再発予防を目的として長期に継続されることの多い術後補助療法では、患者さんの身体的・心理社会的状況は大きく異なります。そのため、ナースに求められる支援やアプローチにも違いがあります。そこで本特集では乳がん手術の補助療法について、術前・術後それぞれの特徴を整理したうえで、患者ケアにおいて留意すべき支援の要点を概説します。さらに、不安の強い患者さんやご家族から寄せられる質問を取り上げ、その背景にある思いを理解し、対応に生かせる考えかたのエッセンスもご紹介します。

Part1 基礎知識をおさらい！ 乳がんの術前・術後補助療法

石飛真人 地方独立行政法人大阪府立病院機構

大阪はびきの医療センター乳腺外科 部長

Part2 術前と術後でどう違う？ 補助療法のケア

梅本 郁奈子 市立貝塚病院 乳がん看護認定看護師

Part3 患者さんからの質問にどう答える？ 考えかたと声かけのエッセンス集

渋谷和代 大阪国際がんセンター 乳がん看護認定看護師

読者ターゲット

一般病院の看護師、専門病院の看護師、ジェネラリスト、スペシャリスト。がん看護に携わるすべての看護師。

ADポイント

2025年のリニューアルにより、1号あたりのボリュームが大幅に増加。さらに2026年からは「必要な知識を、必要とする読者へ」という想いのもと、号ごとに対象読者を明確に絞り込み、特集テーマを設定していきます。これにより、臨床の最前線で求められる知識を、もっとも届けたい人に確実にお届けできる雑誌へと進化します。2号では、外来がん薬物療法、あるいは入院によるがん薬物療法初回導入の退院支援を担当する病棟ナースを対象とします。また、ビジュアルや実践ツールもさらに充実させ、読者自身の学びを深めるだけでなく、患者さんやご家族へのケア、そして後輩への教育・指導において“現場で使える”一冊であり続けます。

広告締切

申込締切日: 2026.2.19 版下出版社必着: 4C 2026.2.19 1C 2026.3.5 綴込 2026.3.10

広告料

(税抜き)

掲載面	刷色	スペース	料金	サイズ(mm)
表4	カラー	1頁	250,000	205×172【断ち切り】
表2	カラー	1頁	230,000	257×182【断ち切り】
表3	カラー	1頁	210,000	257×182【断ち切り】
目次裏	カラー	1頁	180,000	257×182【断ち切り】
目次下	カラー	1/3頁	100,000	70×150
記事※	カラー	1頁	160,000	257×182【断ち切り】
記事※	1色	1頁	80,000	220×150
記事※	1色	1/2頁	50,000	105×150
綴込		1枚	100,000	仕上りに天地左右3mm タチシロありの印刷物

※掲載場所指定は20%増の料金となります(記事カラーのみ対応)。

取扱い広告代理店

● 広告原稿は完全データでお願いします。※ 広告掲載前に審査がございます。事前に広告内容をお知らせください。

● 入稿の際は、広告データ、出力見本(確認用PDF)をご準備ください。

● 広告掲載スペースには、断ち切りサイズ掲載可能スペースと、掲載不可のスペースがあります。掲載スペースとサイズをご確認ください。

● 企画内容が変更になる場合があります。

広告に関するお問い合わせは、上記の取扱い代理店、もしくは(株)メディカ出版 総広告代理店(株)メディカ・アド

TEL:03-5776-1853までお願いいたします。

◇この内容は、弊社ホームページ内の「掲載可能な専門誌一覧(<https://www.medica.co.jp/ad/>)」からダウンロードできます。